

# 令和8年（2026年）度施策評価シート

令和 8 年 7 月 7 日

|     |              |
|-----|--------------|
| 評価者 | 市民防災部長 林 浩一  |
| 評価者 | 健康福祉部長 石黒 知美 |
| 評価者 | 都市調整部長 古賀 久貴 |
| 評価者 | 都市整備部長 田中 新一 |

## ○ 施策の概要

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |             |       |                   |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------|-------------------|
| 総合計画上の位置付け | 分野                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 5-(1) 防災・安全 | 施策の方針 | 5-(1)-①防災・減災対策の充実 |
| 目標とするまちの姿  | 災害時の市民の生命や財産を守るため、自助・共助・公助の視点で、ハード・ソフトの両面から総合的な自然災害対策が講じられています。また、各種訓練等の実施により市民の防災意識とともに防災力が向上し安全・安心なまちが実現しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |             |       |                   |
| 主な取組       | <p>(1)総合的な防災体制の強化<br/>市民はもとより帰宅困難者も視野に入れ、自助・共助・公助の役割分担と連携を踏まえた、強靱化(レジリエンス)の視点に立った総合的な自然災害対策を講じます。</p> <p>(2)建築物等の耐震化の推進<br/>市民等が実施する建築物の耐震化に対する支援を行うとともに、道路に面する危険ブロック塀等の除却を支援します。</p> <p>(3)地域防災力の強化<br/>市民に対する防災知識の普及啓発を図り、「自分たちの地域は、自分たちで守る。皆のまちは、皆で守る。」という基本理念に沿って自主防災組織の育成強化を図ります。<br/>また、平常時から地域における相互支援の体制を整備します。</p> <p>(4)避難対策の推進<br/>地震や津波発生時の避難路を整備するとともに、避難経路や避難方法について、防災講話や避難訓練を通じて市民に周知し、避難体制を整備するとともに、年齢、性別、障害等の有無、国籍などの多様なニーズに配慮した避難所体制の整備を進めます。<br/>また、ICTなどの新たなテクノロジーを活用し、適確に情報収集・情報発信ができる環境を整えます。</p> <p>(5)がけ・急傾斜地対策の推進<br/>がけ崩れ及び土砂の流出等による災害の予防対策として、急傾斜地崩壊危険区域等での防災工事を促進します。</p> <p>(6)浸水対策の推進<br/>市内の浸水箇所を解消を図るため、浸水対策を進めます。</p> |             |       |                   |

## 1. 前年度(評価対象年度)の当該施策の目標

### 市民防災部

着実な各種事業の実施とともに、新たな課題やニーズを踏まえながら防災力の向上に取り組む。

### 健康福祉部

- ・引き続き迅速・安全に開設運営するための方法を検討し、物品管理等を万全にすることで、万が一の避難所開設運営に備える。
- ・福祉避難所の円滑な開設・運営を目指し、運営体制について検討を行う。
- ・火災等により被害を受けた方に対し、災害救助を実施する。

### 都市調整部

- ・引き続き、建築物の耐震化の促進により、大地震が生じた場合にも、すぐに安全な場所へ避難できるようにする。また、ブロック塀等対策により、避難場所に至る経路において、塀の倒壊による閉塞をきたさないよう、避難経路の機能を確保する。

## 都市整備部

・引き続き、防災・伐採工事助成事業及び急傾斜地防災工事事業を実施する。

## 2. 投入コスト

|      | 令和2年度   | 令和3年度   | 令和4年度   | 令和5年度   | 令和6年度   | 令和7年度   |
|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 事業費  | 362,819 | 457,856 | 276,773 | 293,530 | 264,974 | 299,984 |
| 人件費  | 109,420 | 115,674 | 115,005 | 129,323 | 133,065 | 129,498 |
| 総事業費 | 472,239 | 573,530 | 391,778 | 422,853 | 398,039 | 429,482 |

## 3. 施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果

| 重点事業 | 整理番号  | 事業名          | 法定受託事務 | 事業費(千円) | 人件費(千円) | 総事業費(千円) | 事業評価 | 貢献度 | 最終評価 |
|------|-------|--------------|--------|---------|---------|----------|------|-----|------|
|      | 市防-03 | 防災運営事業       |        | 2,425   | 9,664   | 12,089   | 現状維持 | A   | 現状維持 |
|      | 市防-04 | 災害時広報事業      |        | 26,542  | 8,283   | 34,825   | 現状維持 | A   | 現状維持 |
|      | 市防-05 | 災害対策本部機能強化事業 |        | 6,863   | 4,142   | 11,005   | 現状維持 | A   | 現状維持 |
| 重    | 市防-06 | 避難対策推進事業     |        | 66,432  | 19,328  | 85,760   | 拡充   | A   | 拡充   |
|      | 市防-07 | 防災活動事業       |        | 14,564  | 8,285   | 22,849   | 現状維持 | A   | 現状維持 |
|      | 健福-10 | 災害救助事業       |        | 200     | 11,873  | 12,073   | 現状維持 | B   | 現状維持 |
| 重    | 都調-08 | 建築相談事業       | 法定     | 20,897  | 46,938  | 67,835   | 現状維持 | A   | 現状維持 |
| 重    | 都整-36 | がけ地対策事業      |        | 162,061 | 20,985  | 183,046  | 現状維持 | A   | 現状維持 |

## 4. 評価対象年度の実施内容

### 市民防災部

・総合防災訓練を実施し、災害時の関係機関の連携方法を確認した。  
 ・防災・安全情報メールに多言語配信とX連携の機能を追加し、災害情報発信の充実を図った。  
 ・多様なニーズに配慮し、備蓄品を導入するなど避難所体制を整備した。  
 ・仮設受水槽を導入し、災害時の応急給水体制を強化した。

※実施できなかった事業とその理由

### 健康福祉部

・避難所の開設を見据えて人員等体制の整備や物品管理等を行った。土砂災害警戒情報が発表される等災害発生が見込まれる際には避難所従事職員に迅速に指示を出し、各避難所を速やかに開設した。  
 ・避難所における要配慮者対策の一環として指定避難所に要配慮者が避難したことを想定した訓練を実施した。  
 ・また、福祉避難所においても、地域包括支援センター(人的支援に関する協定に基づく支援要請)の職員や神奈川県D-WATから人的支援を受けたことを想定し、避難者への困りごと相談ヒアリング訓練を行った。  
 ・火災等により被害を受けた方に対して、見舞金の支給を行った。

※実施できなかった事業とその理由

## 都市調整部

・市庁舎で建築士が行う窓口耐震相談、相談を担当した建築士が現地で診断を行う現地耐震診断の診断費用補助制度及び、現地耐震診断の総合評点が1.0未満の住宅を1.0以上になるように耐震改修工事を行う方に工事費等補助制度を実施した。  
 ・避難路沿道建築物の耐震診断費の補助制度を実施した。  
 ・危険ブロック塀等の除却及び、除却後にフェンス等の設置を行う方に対する工事費の補助制度を実施した。

### ※実施できなかった事業とその理由

マンションの耐震診断費の補助制度、避難路沿道木造建築物の耐震改修工事費・除却費の補助制度、耐震改修アドバイザー派遣制度及び防災ベッドなどの設置費用の補助制度が実施できなかった。  
 理由：申請がなかったため。

## 都市整備部

・防災・伐採工事助成事業において、既成宅地等防災工事資金助成を実施した。  
 ・急傾斜地防災工事事業において、急傾斜地防災工事負担金の支出を実施した。

### ※実施できなかった事業とその理由

## 5. 成果指標

| 成果指標① |        | 公共建築物の耐震化率(災害時の拠点となる施設)(鎌倉市SDGs未来都市計画 指標) |       |       |       |       |       | 出典    |    | 鎌倉市耐震改修促進計画に基づく実績 |  |
|-------|--------|-------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-------------------|--|
| 初期値   | 令和元年度末 | 年次                                        | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 単位 | 備考                |  |
|       | 96.4   | 目標値                                       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | %  | 所管は公共施設課          |  |
|       |        | 実績値                                       | 97.6  | 97.6  | 97.6  | 97.6  | 97.6  | 97.6  |    |                   |  |
|       |        | 達成率                                       | 97.6% | 97.6% | 97.6% | 97.6% | 97.6% | 97.6% |    |                   |  |

| 成果指標② |          | 市内の通学路における危険ブロック塀等の改善率 |       |       |       |        |        | 出典     |    | 通学路の危険ブロック等改善率 |  |
|-------|----------|------------------------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|----|----------------|--|
| 初期値   | 令和元年9月1日 | 年次                     | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度  | 令和6年度  | 令和7年度  | 単位 | 備考             |  |
|       | 56.9     | 目標値                    | 60.5  | 63.0  | 65.5  | 68.0   | 70.5   | 73.0   | %  |                |  |
|       |          | 実績値                    | 59.6  | 60.5  | 62.2  | 70.6   | 72.4   | 73.7   |    |                |  |
|       |          | 達成率                    | 98.5% | 96.0% | 95.0% | 103.8% | 102.7% | 101.0% |    |                |  |

| 成果指標③ |        | 自宅周辺の自然災害リスクを知っている市民の割合(鎌倉市SDGs未来都市計画 指標) |       |       |       |       |       | 出典    |    | 市民アンケート調査 |  |
|-------|--------|-------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----|-----------|--|
| 初期値   | 令和2年1月 | 年次                                        | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 単位 | 備考        |  |
|       | 75     | 目標値                                       | 80.0  | 85.0  | 90.0  | 95.0  | 100.0 | 100.0 | %  |           |  |
|       |        | 実績値                                       | 未実施   | 75.3  | 74.5  | 77.2  | 79.6  | 76.6  |    |           |  |
|       |        | 達成率                                       | －     | 88.6% | 82.8% | 81.3% | 79.6% | 76.6% |    |           |  |

## 6.「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

### 市民防災部

各種訓練の実施や災害時情報発信の充実に取り組み、自然災害のリスク等を市民へ周知した。目標値には及ばないものの、一定の達成率をあげられており、防災・減災対策を推進することができた。

### 都市調整部

「市内通学路における危険ブロック塀等の改善率」における令和7年度の実績値は、目標値を上回り73.7%であった。改善が進む契機となった大阪府北部地震に加えて能登半島地震もあり、現在に至るまで堅調に推移しており、市民の関心は高いと認識している。

## 7. 主な実施内容と施策の達成状況の分析を踏まえた評価

※主な実施内容と目標とするまちの姿の関係(達成状況とその理由)

「施策の方針にひもづく事務事業とその評価結果」における貢献度の分析

### 市民防災部

防災運営事業について、飲料水や生活用水を確保するため災害用井戸水水質検査を実施し、地域防災力の向上を図った。また、総合防災訓練を実施し、関係機関との連携を強化した。

災害時広報事業について、防災・安全情報メールの多言語配信とX連携を開始するなど、市民等の災害時の情報収集体制の充実を図った。

災害対策本部機能強化事業について、無線による通信体制を構築しており、関係機関との情報収集体制の充実を図った。

避難対策推進事業について、多様なニーズに配慮した備蓄品を導入するなど避難所の整備を行うとともに、大規模な断水が生じた際の応急給水対応として、可搬型の組立式仮設受水槽を配備するなど、避難対策を充実させた。

防災活動事業について、自主防災組織に対して活動育成費の助成を実施し、防災意識の啓発・地域防災力の強化に取り組んだ。

以上の取組は、目標とするまちの姿の達成に必要な取組であり、評価年度に着実に進展したため、貢献度をAとした。

### 健康福祉部

・避難所を安全に開設・運営するための方法を検討し、訓練を実施することで、市民の生命や財産を守る準備を整えた。

・市内火災に対し、見舞金の支給を行うなど、公助の視点でソフト面からの取組をおこなったことで施策の方針の達成に十分に貢献していると考えている。

### 都市調整部

建築物の耐震化やブロック塀等の倒壊対策に関する補助制度を実施することにより、ソフト面からの自然災害対策を着実に進め、災害時の市民の生命や財産を守ることに貢献している。

### 都市整備部

がけ地対策事業においては、市内には多くの斜面が存在しているが、既成宅地防災工事資金助成事業により伐採工事98件及び防災工事17件について資金助成を行い、また、急傾斜地崩壊対策事業により実施した18地区の防災工事等について工事費の一部を負担し、危険な斜面の防災・減災の充実に寄与した。

## 8. 今後の方向性

### 市民防災部

|                                                                                      |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策                                                                  | 1-1 防災 |
| 自助、共助、公助の役割分担と連携を踏まえ、機会を捉えて防災意識の啓発を進め、地域と連携した防災対策の充実に取り組むことにより、災害に強い安全・安心なまちづくりを進める。 |        |

### 健康福祉部

|                                                                                                                                                                                            |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|
| 鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策                                                                                                                                                                        | 2-1 福祉 |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・引き続き迅速・安全に開設運営するための方法を検討し、物品管理等を万全にすることで、万が一の避難所開設運営に備える。</li><li>・福祉避難所の円滑な開設・運営を目指し、運営体制について検討を行う。</li><li>・火災等により被害を受けた方に対し、災害救助を実施する。</li></ul> |        |

### 都市調整部

|                                                                                     |          |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策                                                                 | 4-1 都市空間 |
| 「令和17年までに耐震性が不十分な住宅をおおむね解消する」という国の方針が示されたことから、近隣各市とも、耐震改修促進計画の改定を行い、更なる耐震化率の向上に努める。 |          |

### 都市整備部

|                                     |        |
|-------------------------------------|--------|
| 鎌倉ミライ共創プラン2030 該当施策                 | 1-1 防災 |
| ・引き続き、防災・伐採工事助成事業及び急傾斜地防災工事事業を実施する。 |        |